

て 広報 天龍

第 106 号

2005年4月28日

私たちの村
—4月1日現在—
人口 2,070 人
男937人 女1,133人
世帯数 951 世帯

発行 天龍村役場
編集 総務課
印刷 斎藤印刷所

十方峡バイパス開通



十方峡トンネルと藁
野大橋の十方峡バイ
パス工事が完了し、3月
25日に開通式及び祝賀
会が、国・県・近隣町
村・村関係者など、多く
のみなさんにご参列
いただき、盛大に開催
されました。

このトンネルの開通
により、今までの信号
機による交互通行が解
消されました。なお、
平成17年度も引き続き、
第二工区となる清水地
区の用地補償を進めて
いく予定です。

最後になりましたが、
本工事に際し工事関係
者及び地権者のみなさ
んに厚くお礼申し上げ
ます。

また、今後も工事を
進めてく予定ですので、
ご理解とご協力をお願
いします。

～自動車税の納期限は5月31日(火)です～

議会だより

第1回定例議会

平成17年第1回天龍村議会定例会が、3月10日開会し、22日までの13日間の会期で行われ、左記の議案について原案どおり可決されました。

「可決された案件」

- 天龍村税条例の一部を改正する条例について専決処分の報告および承認を求めることについて
内容は地方税法及び不動産登記法の一部改正に伴う、税条例の条文の一部改正です。
- 天龍村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について
内容は、地方公務員法の改正により、職員給与等の公表が、法律上義務付けられ、公表の対象が広く人事行政全般とされたことに伴う、具体的な公表の時期や方法等について定める条例の制定です。
- 下伊那郡土木技術センター組合規約の一部変更について
内容は下伊那土木技術センター組合の共同事務処理する事務を実態に即した明確なものとするため、規約の一部を変更するものです。
- 長野県町村総合事務組合を

- 組織する町村数の減少及び組合規約の変更について
内容は、市町村合併により、組合を組織する町村数が94から84となり、また、組合の議会議員及び執行機関の選出母体である長野県町村会及び長野県町村議会議長会の改編等に伴う条文の変更です。
- 職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
内容は、人事院規則が改正され、小学校就学の始期に達するまでの子を養育する職員又は配偶者、父母、子等を介護する職員に一日の勤務時間を変更することなく、始業・終業時刻を変更して勤務させる制度が新設されたことに伴う条例の一部改正です。
- 天龍村自然体験型交流施設等の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について
内容は、施設の管理運営を指定管理者に委託する事ができるようにしたこと及び利用料金を收受できるよう条文の追加及び改正を行なうものです。
- 天龍村課設置条例の全部を改正する条例について
内容は、各課係の分掌事務について、天龍村組織規則で対応可能であるため、条例の全部を改正するものです。
- 平成17年度天龍村国民健康保険特別会計予算
○平成16年度天龍村介護保険特別会計補正予算(第4号)
○平成16年度天龍村営水道特別会計補正予算(第4号)
○平成16年度天龍村営下水道事業特別会計補正予算(第4号)
○平成16年度天龍村介護保険特別会計補正予算(第4号)
○平成17年度天龍村一般会計予算
○平成17年度天龍村営水道特別会計予算
○平成17年度天龍村老人保健特別会計予算
○平成17年度天龍村営下水道事業特別会計予算
○平成17年度天龍村介護保険特別会計予算

- 天龍村農業委員会の選挙による委員の定数条例の一部を改正する条例について
内容は、同施設の管理運営を平成17年4月1日より平成27年3月31日までの10年間、学校法人どんぐり向方学園へ委託するものです。
- 早木戸川電源開発基金条例の一部改正について
内容は、農業委員会等に関する法律の一部改正及び

- 業者名 (有)上野建設
1億3,219万5千円
変更後請負契約

「一般質問」

- 授産施設に対する施設事務費補助の特別措置の対象範囲拡大に関する意見書
本意見書は3月29日付で厚生労働大臣あて送付しました。
- 固定資産評価審査委員の選任について議会の同意を求めることがあります。
- 天龍村スクールバス管理条例の一部を改正する条例について
内容は、固定資産評価委員としてご尽力頂いておりました鷲巣区後藤公克氏の任期満了により、後任として中井侍区宮澤盛孝氏を選任するものです。
- 向方辺地に係る総合整備計画の一部変更について
内容は、温泉施設源泉ターンク増設事業の一般財源部分に辺地債を充当するための変更です。
- 天龍村自然体験型交流施設等の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について
内容は、温泉施設源泉ターンク増設事業の一般財源部分に辺地債を充当するための変更です。
- 天龍村課設置条例の全部を改正する条例について
内容は、各課係の分掌事務について、天龍村組織規則で対応可能であるため、条例の全部を改正するものです。
- 平成17年度天龍村国民健康保険特別会計予算
○平成17年度天龍村営水道特別会計予算
○平成17年度天龍村老人保健特別会計予算
○平成17年度天龍村営下水道事業特別会計予算
○平成17年度天龍村介護保険特別会計予算

「補正予算」

- 授産施設に対する施設事務費補助の特別措置の対象範囲拡大に関する意見書
本意見書は3月29日付で厚生労働大臣あて送付しました。
- 固定資産評価審査委員の選任について議会の同意を求めることがあります。
- 天龍村スクールバス管理条例の一部を改正する条例について
内容は、固定資産評価委員としてご尽力頂いておりました鷲巣区後藤公克氏の任期満了により、後任として中井侍区宮澤盛孝氏を選任するものです。
- 向方辺地に係る総合整備計画の一部変更について
内容は、温泉施設源泉ターンク増設事業の一般財源部分に辺地債を充当するための変更です。
- 天龍村自然体験型交流施設等の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について
内容は、温泉施設源泉ターンク増設事業の一般財源部分に辺地債を充当するための変更です。
- 天龍村課設置条例の全部を改正する条例について
内容は、各課係の分掌事務について、天龍村組織規則で対応可能であるため、条例の全部を改正するものです。
- 平成17年度天龍村国民健康保険特別会計予算
○平成17年度天龍村営水道特別会計予算
○平成17年度天龍村老人保健特別会計予算
○平成17年度天龍村営下水道事業特別会計予算
○平成17年度天龍村介護保険特別会計予算

「意見書」

平成16年度補正予算

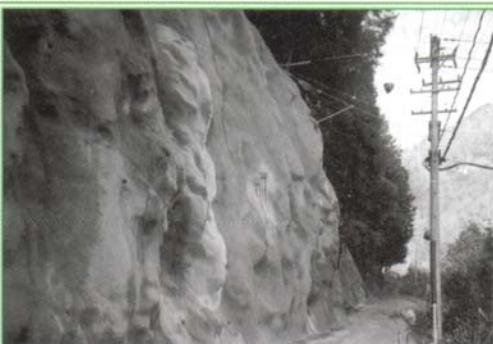
(単位:万円)

会計名	補正前の額	補正額	補正前の額
一般(第5号)	256,431	(債務負担行為のみ)	256,431

平成16年度補正予算

(単位:万円)

会計名	補正前の額	補正額	補正前の額
一般(第6号)	256,431	9,882	266,313
国民健康保険(第4号)	23,652	△255	23,397
村営水道(第4号)	7,257	△325	6,932
村営下水道事業(第4号)	9,206	△120	9,086
介護保険(第4号)	24,450	0	24,450

○板倉幸正
1、有害鳥獣による被害(個)
人への調査及び対策について○松下平一
1、当初予算における人件費削減について
1、観光開発と和知野川周辺再開発について
1、協働型社会と生活改善について

◆村道長野長島線

この交付金は、発電所などの電源施設が所在する市町村に交付されるもので、平成16年度は約3,509万円が天龍村に交付されました。なお、平成17年度は、平

域対策交付金事業(旧水力発電施設周辺地域交付金)により、村道長野長島線・林道折立線及び平岡簡易水道水源地の防護施設整備事業が行われました。

岡橋修繕事業に同交付金を活用する予定となっています。



平岡簡易水道水源地

電源立地地域対策交付金事業

平成16年度

平成17年度の在宅福祉事業について

下記の事業の利用・お問い合わせについては「住民課・住民福祉係 TEL.32-2001」までお尋ねください。

事業名	内 容	利用者負担額
生きがいデイサービス通所事業	介護保険を使わずにデイサービスセンターを利用することができます。メニュー…入浴サービス・昼食・各種身体機能向上トレーニングおおむね65歳以上の方が対象となります。	1回 600円
軽度生活援助(ヘルパー派遣)	介護保険を使わない、家事援助などのヘルパー派遣です。週1回程度の訪問で、血压測定、掃除や洗濯、話し相手等行います。おおむね65歳以上の方が対象となります。	1回 1時間 80円
配食サービス事業	週1回、お弁当を配達します。おおむね65歳以上の方が対象となります。	1回 400円
外出支援事業(福祉バス運行)	天龍村診療所・阿南町新野診療所への通院をサポートします。 平岡地区……………月曜日 天龍村診療所へ 下山以南……………金曜日 “ 向方・大河内・梨畑……木曜日 新野診療所へ おおむね65歳以上の方	200円 (1人1回に付き)
心配ごと相談	月1回、民生児童委員が相談をお受けします。相談された内容についての秘密はもちろん厳守いたします。	無料
養護天龍荘ショートステイ	家庭の事情などで緊急的に入所が必要な方を短期入所でお世話します。おおむね65歳以上の方で、介護保険の認定を受けている場合は要介護度が2以下の方また、介護保険認定を受けていない方は入浴、トイレと言った日常生活を送れる方。	1,730円 (1日に付き)
高齢者にやさしい住宅改良	高齢者の方が日常生活を安全に送ることができるための住宅改良について、家屋等改造費の一部を補助します。補助限度額は90万円、介護保険を併用した場合には、70万円となります。対象者は65歳以上の非課税世帯の方で改造費が20万円以上かかる改良に対して対象となります。	補助限度額を越えた分+20,000円ですが申請時に詳細をご説明します。
家族介護用品支給事業	ご家庭で家族の介護された方におむつの購入助成をします。限度額を超えない範囲(1月の限度額は5,625円です。)で購入額の9割を補助します。対象家庭は非課税世帯となります。	/
デイサービス利用料軽減事業	介護保険でデイサービスを利用された方には食事代を除いた本人負担額の30%を負担します。	/

平成17年度 一般会計予算 20億9,600万円 〈昨年度比5.6%減〉

平成17年度一般会計当初予算及び特別会計当初予算は、3月定例議会で次のとおり承認されました。

歳入の概要

★村税

村民税・固定資産税等の減により、前年度に比べ5.7%、1,531万円の減となりました。

★地方交付税

当村の歳入の中でもっとも大きな比重を占めています。前年度と同額になっています。

★国・県支出金

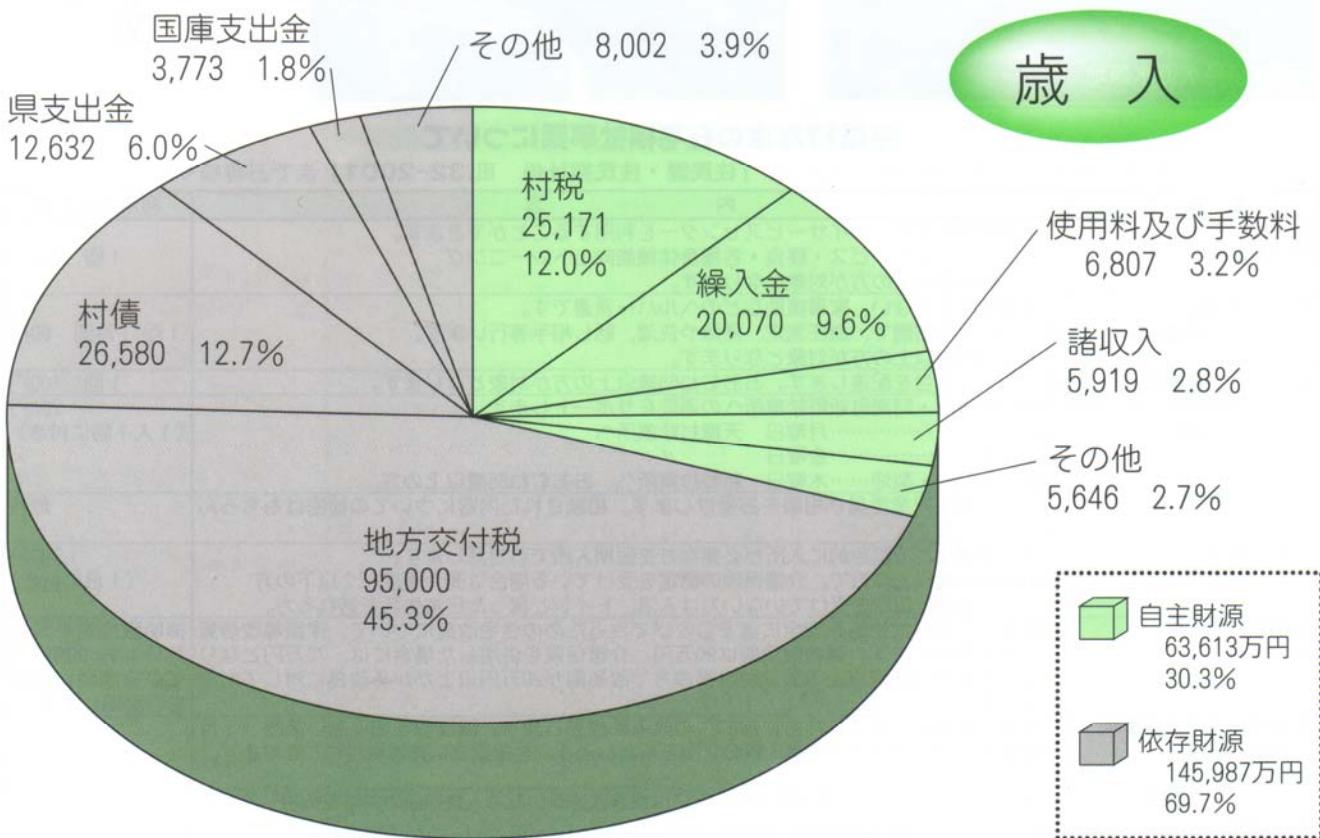
県の集落創生交付金などの補助金の廃止や、移動通信用鉄塔施設整備事業の終了及び林業地域総合整備事業の縮減などにより、前年度に比べ40.0%、1億922万円の大幅減となりました。

★繰入金

財源確保のため、財政調整基金から6,120万円、地域福祉基金から5,300万円、村債の繰り上げ償還を行うため、減債基金から8,650万円を取り崩す予定です。

★村債

平岡駅周辺整備事業や道路整備事業などの財源として、後年度財源補てんのある有利な起債を借入れる予定です。近年で最も少なかった前年度に比べ、さらに20.6%、6,890万円の減となっています。



歳入の概要

★公債費	平岡駅周辺整備事業や温泉源泉タンク増設事業の増などにより、前年度に比べ60・7%、418万円の増となっています。	平岡駅周辺整備事業や温泉源泉タンク増設事業の増などにより、前年度に比べ60・7%、418万円の増となっています。
★商工費	林道治山費・林業地域総合整備事業の大幅な縮減などにより、前年度に比べ49・5%、1億4,230万円減と、ほぼ半減となっています。	林道治山費・林業地域総合整備事業の大幅な縮減などにより、前年度に比べ49・5%、1億4,230万円減と、ほぼ半減となっています。
★農林水産業費	社会福祉協議会補助金、特養・養護天龍荘分担金の大額減などにより、前年度に比べ14・8%、4,429万円の減となっています。	社会福祉協議会補助金、特養・養護天龍荘分担金の大額減などにより、前年度に比べ14・8%、4,429万円の減となっています。
★総務費	移動通信用鉄塔施設整備事業の終了などにより、前年度に比べ19・2%、5,110万円の減となっています。	移動通信用鉄塔施設整備事業の終了などにより、前年度に比べ19・2%、5,110万円の減となっています。
★議会費	定数の2名減により、前年度に比べ17・1%、536万円の減となっています。	定数の2名減により、前年度に比べ17・1%、536万円の減となっています。

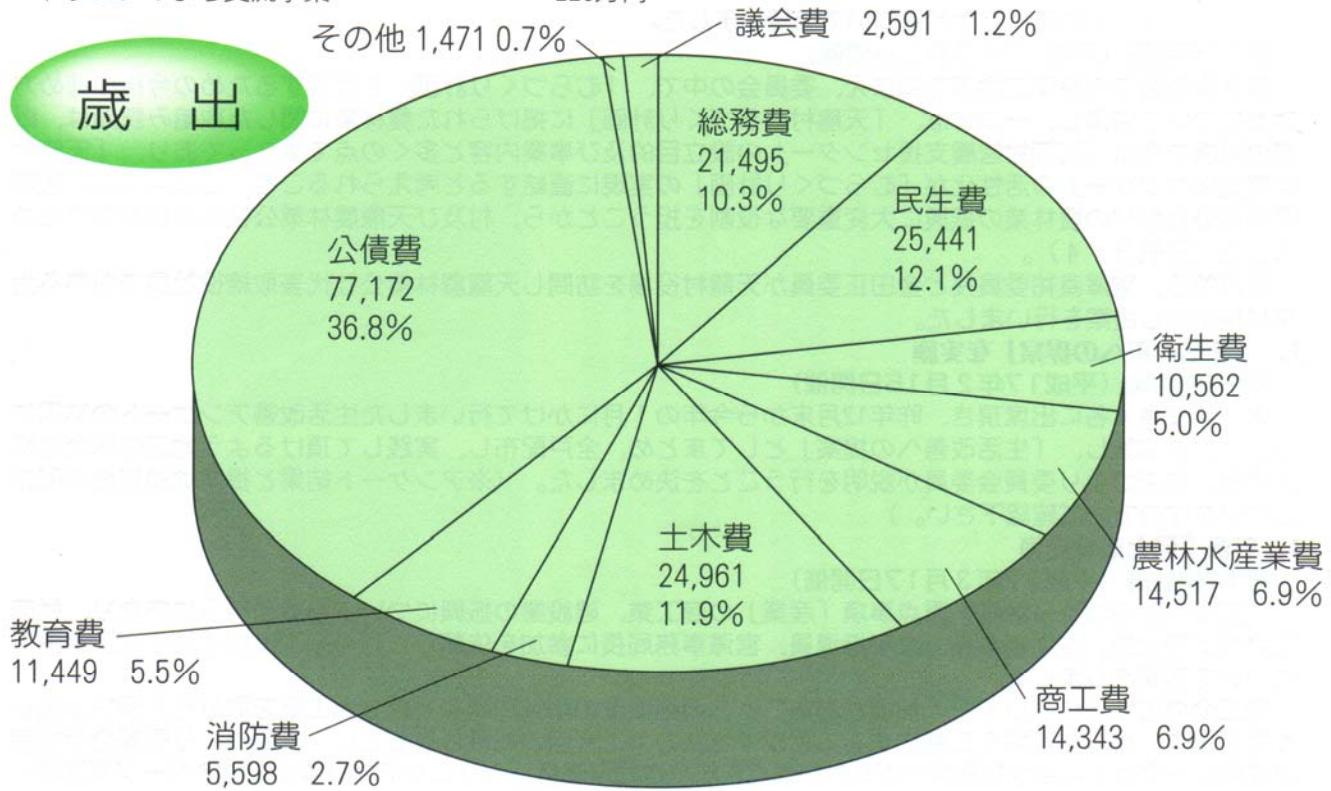
※本年度も「議員・特別職の報酬・給与10%カット」「職員給与カット4~10%」「賃金や補助金の見直し」「各事業の縮減」などを昨年度に引き続いて実施し、大幅な歳出の削減に取り組んでいます。

平成17年度主要事業

- 下伊那南部総合事務組合負担金 148万円
- 天龍村議會議員一般選挙費 391万円
- 農林業公社運営補助金 700万円
- 県営中山間地域総合整備事業負担金 1,625万円
- 地籍調査費 2,526万円
- 林業地域総合整備事業 3,856万円
- 平岡駅周辺整備事業（大型バス駐車場） 3,161万円
- 龍泉閣運営補助金 800万円
- 温泉源泉タンク増設 1,502万円
- 村道整備事業 1億1,738万円
- 平岡橋修繕 3,803万円
- 中学生海外派遣事業補助金 298万円
- ドラゴンのまち交流事業 226万円

特別会計

国民健康保険	1億9,736万円
村 営 水 道	1億4,651万円
老 人 保 健	3億6,558万円
村 営 下 水 道	9,161万円
	2億5,577万円



天龍未来づくり委員会

活動報告 第3回

【取り組みの内容】

1. 福祉関係項目について村長、社協に提案を実施

○第7回会議(平成17年1月11日開催)

第5回会議後半、第6回会議に引き続き、社会福祉協議会職員を交え、役場住民課職員とともに、「天龍村むらづくり計画」の「福祉」の項目について、今後の具体的な取り組みを中心に意見交換をしました。「社会福祉協議会の事業充実」には、マンパワーの不足が課題となっていることなどから、地域住民、ボランティアの協力を得るための呼びかけや自らボランティア登録するなど社会福祉協議会のバックアップを図り、一方で村民がお互いに助け合うための行動も重要といった意見が出されました。その他の福祉の項目である「予防医療の充実」、「介護慰労金」、「小児医療費の補助」、「子育て支援」等についても協議を行いました。

○第8回会議(平成17年1月25日開催)

「天龍村むらづくり計画」の実現に向けた取り組みを行うためには、役場や社会福祉協議会の協力が必要なことから、前回までの協議の内容を、村長、社会福祉協議会への提案という形でまとめました(別紙1・2)。

翌日、宮澤直祐委員長と男澤秀幸委員が天龍村役場を訪問し社会福祉協議会理事長でもある大平村長に対し提案を行いました。(8ページ写真①)

2. 農業関係項目について村長、農林業公社に提案を実施

○第9回会議(平成17年2月9日開催)

「天龍村むらづくり計画」の重点事項「産業」について協議を行うにあたり、当村の農林業振興に大きな役割を果たすと考えられる天龍農林業公社職員に出席を依頼し、役場産業建設課職員も加わり意見交換をしました。特に今までの取り組み状況やシルバー人材の活用法、これからの計画や将来展望など事業内容、組織等の現状及び村の農業問題に対し総合的に対処し支援活動を推進することを目的とされている「天龍村営農支援センター」のあり方などについて協議しました。

○第11回会議(平成17年3月2日開催)

第9回会議での意見交換等を踏まえ、委員会の中で、「むらづくり計画」を実現するための今後の進め方などについて協議し、一つには、「天龍村むらづくり計画」に掲げられた農林業に関する取組み課題は、既存の組織である「天龍村営農支援センター」の設立目的及び事業内容と多くの点で重なっており、「天龍村営農支援センター」の活性化が「むらづくり計画」の実現に直結すると考えられること、二つ目には、天龍農林業公社が村の農林業の振興に大変重要な役割を担うことから、村及び天龍農林業公社への提案をまとめました(別紙3・4)。

3月23日、宮澤直祐委員長と金田正委員が天龍村役場を訪問し天龍農林業公社代表取締役社長でもある大平村長に対し提案を行いました。

3. 「生活改善への提案」を実施

○第10回会議(平成17年2月15日開催)

婦人会役員4名に出席頂き、昨年12月末から今年の1月にかけて行いました生活改善アンケートの結果について分析協議し、「生活改善への提案」としてまとめ、全戸配布し、実践して頂けるよう地区の総会で婦人会員、未来づくり委員会委員が説明を行うことを決めました。(※アンケート結果と提案は過日全戸配布していますので、ご確認下さい。)

4. 村商工会と意見交換

○第12回会議(平成17年3月17日開催)

「天龍村むらづくり計画」重点事項「産業」の商工業、建設業の振興について協議を行うにあたり、村商工会の上野会長、吉澤副会長、大平指導員、宮澤事務局長に参加を依頼し、村の商工業の実情や商工会事業についてお聞きしました。

商工会の広域化に向けて県の指導があること、県補助金の削減問題など村の商工業を取り巻く環境が厳しくなる中で、様々な実情をお聞きすることができたので、今回のお話をもとに、未来づくり委員会や村民の立場から今後どのような事ができるのか論点を絞り次回以降話し合うことになりました。(8ページ写真②)

(7) 広報 天 龍

平成17年4月28日

(別紙1)

平成17年1月26日

天龍村長 大平 嶽 様

天龍未来づくり委員会
委員長 宮沢直祐

「天龍村むらづくり計画」重点事項『福祉』関係について（報告）

当委員会の取り組みにつきましては、日頃から格別のご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、「天龍村むらづくり計画」重点事項『福祉』関係について、委員会で検討協議の結果、村施策に係る提案を下記のとおり取りまとめましたので、実現に向けた取り組みについてご検討のうえお取り計らいいただきますよう願います。

なお、天龍村社会福祉協議会に係るものについて、別添（写）のとおり天龍村社会福祉協議会長あて提案しましたのでご報告します。

記

〈重点事項「福祉」の『福祉と医療の連携強化・介護の充実』〉

1. 「ワーキンググループの設置」について

高齢化が進む中で、この天龍村地域に住むお年寄りが、安心して暮らしていくためには、全て社会福祉協議会を頼りにするのではなく、各個人のニーズにあったサービスの提供を行うために選択肢の幅を広げ多様な福祉サービスのあり方を検討することが必要である。

例えば、在宅、森の郷への入居、グループホームやミニデイサービスといった従来の枠組みが全てではなく選択肢の一つとして考え、また、遠隔地域のお年寄りを引っ張ってくるだけでなく、その地域に出かけていくといった発想を取り入れながら、村全体でお互いが支え合える仕組みづくりを目指し、様々な視点から更に広い範囲での検討をすすめたい。

2. その他の項目に関する提案について

(1) 「共助と公助による身近で身軽な福祉を定着」について

①以前村民課で行っていた一人暮らし老人等を対象とした絵手紙、伝言カードを復活し、配達する郵便配達員に安否確認の協力を得る。

②上記制度の効果的運用を実施するため、一人暮らし老人等、高齢者リストの作成及び緊急事態に対応出来る連絡体制の整備

（例：村民、郵便配達員等と役場福祉担当との連携）

(2) 「予防医療の充実」について

村民の予防医療に対する意識の向上を図るために、村民自らの健康管理に対する動議付けが必要なことから以下の項目を提案します。

①定期にラジオ体操を村内に一斉放送する。

②村民運動会時に健康チェックコーナーを設置する。

③40歳以上の村民に健康手帳を配布する。

④家庭介護慰労金制度に代えて、社会福祉協議会事業の活用を推進するなどソフト面でのバックアップを行う。

(別紙2)

平成17年1月26日

社会福祉法人 天龍村社会福祉協議会
会長 大平 嶽 様

天龍未来づくり委員会
委員長 宮沢直祐

天龍村むらづくり計画の重点事項『福祉』関係についての提案について

当委員会の取り組みにつきましては、日頃から格別のご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、「天龍村むらづくり計画」重点事項『福祉』関係について、貴協議会職員にご出席を頂き、委員会で検討協議を行いました結果、協議会事業に係る提案を下記のとおり取りまとめましたので、実現に向けた取り組みについてご検討のうえお取り計らいいただきますよう願います。

記

〈重点事項「福祉」の『福祉と医療の連携強化・介護の充実』〉

1. 「共助と公助による身近で身軽な福祉を定着」について

（1）社会福祉協議会が事業を実施していく上で、マンパワーの不足が大きな課題であり、ボランティア等協力者の確保が不可欠なことから、予定されている村民ニーズ調査を活かし、ニーズに対応して項目を整理し、スポットヘルパー、配食ボランティア等多くの村民にご協力頂けるようなボランティア登録を呼びかけ、マンパワーの不足を解消し、お互いに支えあえる体制を構築する。

（2）老人住宅（森の郷）入居促進を図るために、空き部屋を活用し、村民からの不用家財の提供をしていただきモデルルームを設け、体験入居を行い入居にあたっての不安等の解消に努める。

また、老人住宅内のコミュニティの育成にも努めていただきたい。

2. 「ワーキンググループの設置」のご協力について

高齢化が進む中で、この天龍村地域に住むお年寄りが、安心して暮らしていくためには、全て社会福祉協議会を頼りにするのではなく、各個人のニーズにあったサービスの提供を行うために選択肢の幅を広げ多様な福祉サービスのあり方を検討することが必要である。

例えば、在宅、森の郷への入居、グループホームやミニデイサービスといった従来の枠組みが全てではなく選択肢の一つとして考え、また、遠隔地域のお年寄りを引っ張ってくるだけでなく、その地域に出かけていくといった発想を取り入れながら、村全体でお互いが支え合える仕組みづくりを目指し、様々な視点から更に広い範囲での検討をすすめたいので、貴協議会のご協力ををお願いしたい。

(別紙3)

平成17年3月23日

天龍村長 大平 嶽 様

天龍未来づくり委員会
委員長 宮沢直祐

「天龍村むらづくり計画」重点事項『産業』（農業）関係について（報告）

当委員会の取り組みにつきましては、日頃から格別のご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、「天龍村むらづくり計画」重点事項『産業』（農業）関係について、委員会で検討協議の結果、村施策に係る提案を下記のとおり取りまとめましたので、実現に向けた取り組みについてご検討のうえお取り計らいいただきますよう願います。

なお、天龍農林業公社に係るものについて、別添（写）のとおり天龍農林業公社社長あて提案しましたのでご報告します。

記

〈重点事項「産業」の『農林業の振興』〉

1. 「天龍村営農支援センター」の活性化について

「天龍村むらづくり計画」に掲げられた農林業に関する取り組みの課題は、既存組織である「天龍村営農支援センター」の目的及び事業内容と多くの点で重なっており、むらづくり計画の実現には「天龍村営農支援センター」の活性化が大きな役割を果たすと考えます。

また、発足の経緯からも、農林業公社は「天龍村営農支援センター」の中核的な団体であり、当村の農林業の将来を担う存在であることは万人の認めるところです。

2. 「天龍村営農支援センター」の実務担当者レベルの組織の設置について

「天龍村営農支援センター」の活性化の手段として、組織の見直しを行い次に掲げる者を構成員とした実務担当者レベルの組織（実働部隊）の設置を併せてご提案します。

○天龍農林業公社職員

○みなみ信州農業協同組合職員

○役場農務担当職員

○天龍未来づくり委員会委員 等

(別紙4)

平成17年3月23日

有限会社 天龍農林業公社
代表取締役社長 大平 嶽 様天龍未来づくり委員会
委員長 宮沢直祐

「天龍村むらづくり計画」重点事項『産業』(農業)関係に係る提案について

当委員会の取り組みにつきましては、日頃から格別のご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、「天龍村むらづくり計画」重点事項『産業』(農業)関係について、貴社役員に御出席賜り意見交換をさせていただき、委員会で検討協議を行いました結果、貴社に係る提案を下記のとおり取りまとめましたので、実現に向けた取り組みについてご検討のうえお取り計らいいただけますよう願います。

記

1. 農林業公社の目的及び方向性の開示について

当村における農業事情は、農業従事者の高齢化と後継者難により遊休荒廃農地が増加し、農業の衰退という農業問題のみならず、村民全体の生活環境としての問題が生じています。

このような中で、貴社が遊休農地の利活用を通じ、農林業の活性化を図るとともに住みやすい生活環境の構築に寄与されており、他町村にない先進的な取り組みとして注目されていると認識しています。

よって、貴社が今までに取り組んできた遊休農地解消の取組み実績、受託作業実績等事業実績及び今後の予定を広く村民にわかりやすく周知し、村民に理解を深めていただくことが、貴社の設立目的である天龍村の農林業の振興が図られ、ひいては暮らしやすいむらづくりにも繋がると考えます。

2. シルバー人材の活用について

シルバー人材がもつ労働力の有効活用策の一つとして、梅の選果、茶摘など特に一時的に多量の労力が必要とされる作業や、貴社の行う事業で従業員では不足する作業に、登録制度を設けるなどして内シルバー人材の積極的な活用をご検討頂きたい。

3. 「天龍村営農支援センター」の活性化について

「天龍村むらづくり計画」に掲げられた農林業に関する取り組みの課題は、既存組織である「天龍村営農支援センター」の目的及び事業内容と多くの点で重なっており、むらづくり計画の実現には「天龍村営農支援センター」の活性化が大きな役割を果たすと考えます。

また、発足の経緯からも、貴社は「天龍村営農支援センター」の中核的な団体であり、当村の農林業の将来を担う存在であることは万人の認めるところです。

今後、貴社を筆頭に村内各機関の実務担当者レベルの組織を設置するなどし、総合的な推進機関の役割をもつ「天龍村営農支援センター」の再生及び機能強化にご協力をお願いします。



写真①



写真②

「あなたの提言ボックス」によせられた声 No.2

(平成17年2月15日・3月15日開箱分)

設置場所	提言の概要及び提案者	回答・対応等
役場等	<ul style="list-style-type: none"> ・天龍村を桜の名勝地とし観光の一つとする ・天龍村を紅葉の名勝地とし観光の一つとする ・観光用イチゴ農園を造る ・天龍村に観光の拠点を造る ・観光用牧場を造る <p style="text-align: center;">〈村民〉</p>	<p>観光拠点については、観光立村の位置づけから龍泉閣を観光の拠点とし、大型観光バスの駐車場建設による観光客の誘客、天竜川の景色を利用した遊覧船運行の展開等を考えています。こうした事業の展開により桜・紅葉の名勝地を創り上げることも可能となります。また、観光農園等は、提言に具体的に示されてますが、管理者等の問題もあり難しいかと思われますが、農林業公社等を活用し検討できることは考えてみたいと思います。提案は今後の参考にさせていただきます。</p>
	・他市町村と連合で広域観光を	当然行っております。

設置場所	提言の概要及び提案者	回答・対応等
役場等	・村民パスポートを発行する 〈村民〉	本件に関しましては、個人情報の開示につながる恐れもあり、村民一人一人に着用を義務付けることも不可能と考えます。またカードが無くても日常生活上のお付き合い、氏名住所等分かること考えられ、こういったお付き合いを知っている人以外の人は、個人的な警戒のレベルにもよりますが、必然的に大なり小なり警戒をするのではないでしょうか。よって村民パスポートの発行は行いません。
	・役場、老人福祉センターの室内は禁煙にして欲しい。併せて分煙対策を要望する。 〈村民〉	役場室内では、一部分煙対策を講じてきましたが、更に、分煙の徹底を図るために、役場2階の2箇所及び老人福祉センター1階に排煙装置を整備し隔離した喫煙所を設け職員の分煙を徹底するとともに来庁者へのご協力をお願いしています。
おきよめの湯	・すごく気持ちよく、おふろが広かった。また、職員の感じが良い。 〈不明〉	ご利用ありがとうございます。 お客様に喜ばれる「皆様のおきよめの湯」になれるよう、一人でも多くの方にこの湯質を味わっていただきたく、このお言葉に甘んじることなく、これからもがんばっていきたいと思いますので、なお一層ご愛好の程よろしくお願ひし、ご来館をお待ちしています。
龍泉閣	・役場職員の胸に必ず名札を付ける。さらに対応時には、何々課の誰々といって欲しい。 〈村民〉	名札の着用の徹底を図るとともに、名前の字が小さかったので見やすい大きな名札としました。また、電話での応対の際も所属、名前を名乗り責任ある対応に心がけています。

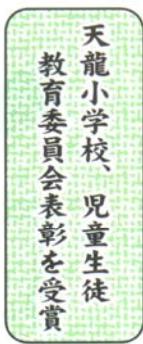


平成11年に全線開通した基幹林道大久那線ですが、開設中に同時舗装を開始してこの度、全線延長19.005mの舗装が完了しました。この林道は松島区から合戸区、見遠区を経由し梨畠区とを結び、長島宇連区や大久那区とのアクセスに効果的な路線として活用されています。普通林道と違い幅員4mの車道であり一般的な生活道路としての目的も考えられ完成しました。舗装が完成した今後は、国道のバイパス的な役割も期待されます。

基幹林道大久那線の全線舗装完了



表彰式は3月24日に長野県庁講堂で行われ、平林校長先生と児童を代表して永嶺茜さんが出席しました。



県教育委員会では、毎年全国規模の大会等において特に優秀な成績を収めた児童生徒に対し、教育委員会表彰を贈呈しています。このたび、天龍小学校の功績（昨年5月に愛鳥週間野生生物保護功労者表彰において日本鳥類保護連盟会長賞を受けました）が認められ、学芸文化部門の表彰を受けることになりました。

平成17年4月28日



(有)龍泉閣支配人
からのお知らせ

4月から

「龍泉閣」の支配人としてお世話になっており、西和衛です。

村民のみなさんの誇りである「龍泉閣」を、期待に沿える施設になるようがんばります。常にお客様の立場に立つた運営を行いたいと考えていますので、みなさんのご支援をよろしくお願いします。

○経歴

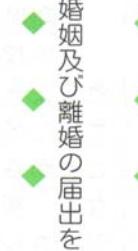
昭和23年3月奈良県生まれ
昭和41年4月三菱銀行入社
平成10年2月東京三菱銀行退社
平成10年3月㈱どんぐりの里いなぶ（愛知県稻武町が設立）支配人
※㈱どんぐりの里いなぶ：どんぐりの湯、農林水産物直売所、道の駅の管理運営
○その他
家族：妻と一人暮らし（妻は教育委員会で臨時職員としてお世話になっております）
趣味：映画鑑賞、旅行
(厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健統計課)

厚生労働省では毎年人口動態調査を実施しています。この調査はみなさんからの出生・死亡・死産・婚姻及び離婚の各届書をもとに、出生や死亡の状況などを調べるものですが、国勢調査の行われる年には、届書に職業への記入（死亡届には、併せて産業の記入）もお願いすることとしています。

調査結果は、今後の保健福祉の向上のための統計資料として活用します。

【調査期間】
平成17年4月1日から平成18年3月31日までの一年間

【調査対象者】
出生・死亡・死産・婚姻及び離婚の届出をされる方



届出をされるときに、それぞれ職業を記入していただきまます。例えば、「飲食店主」、「小売店主」、「外交員」の方は販売職、「教員」、「プログラマー」の方は専門・技術職、「一般事務員」、「集金人」の方は事務職というように書いていただくこととなります。

また、死亡届には、農業・建設業・不動産業といった産業も併せて記入していただきます。

届出をする市区町村窓口で、職業・産業例示表をお渡ししますので、参考の上、記入をお願いします。また、わからない場合は、窓口でおたずねください。

(厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健統計課)

人口動態職業・産業調査にご協力を

平成18年3月新規大学・短期大学・専修学校等卒業予定者並びにご家族の皆様へ
就職面接会開催のお知らせ

来春、大学・短大・専修学校等卒業予定の学生を対象に、就職面接会『ふる里就職の集い飯田』2006』を開催します。

当日は、企業の担当者と直接面談することができます。また、企業ガイドブック等の各種資料をそろえてお配りするほか、就職のご相談にも応じます。

当面は、企業の担当者と直

ところで、「裁判員制度」という言葉を聞いたことがあります。国民の中から無作為に選ばれた裁判員が刑事裁判に参加し、裁判官と一緒に裁判を行う制度のことです。

裁判所では、毎年、憲法記念日を中心とした5月1日から7日までを「憲法週間」として、各地で様々な行事を行っています。この制度は、国民のみなさんの協力がなくては成り立ちません。全国の裁判所で行われる憲法週間記念行事では、裁判員制度をテーマとした催しも企画していますので、ぜひ、ご参加ください。

裁判員制度について



TEL 0265-2418609

●お問合せ先
飯田職業安定協会（飯田商工会議所内）
TEL 0265-241234

ハローワーク飯田（飯田公共職業安定所）

平成17年4月28日

第2回天龍村長杯 パター・ゴルフ大会が 開催されました



3月27日(日)に二センジ自然公園パター＆マレットゴルフ場において第2回天龍村長杯パター・ゴルフ大会が開催されました。

前回に続き平松貞久さんが優勝しました。おめでとうございます。第3回以降も計画しますので、大勢のみなさんご参加を期待しています。

新城市主催の ウォーキングが 開催されました



3月6日(日)に新城市主催のウォーキングが伊那小沢駅～満島神社～平岡駅のコースで行われ、約250名の方が参 加しました。

龍泉閣前では各種物産販売などの催しも行い、たくさんのお土産を購入していただきました。

天龍小学校入学式 平成17年度



4月5日、天龍小学校の入学式が行われ、5名(男4名、女1名)の児童が真新しいランドセルを背負つて元気に登校しました。

式では、なれないところもあつて、多少緊張気味の一年生でしたが、お兄さんお姉さん方にやさしく教えてもらつたり、一緒に遊んでもらつたりして、一日も早く学校になれ、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

平成17年度の全校児童数は51名(男26名、女25名)です。なお、天龍中学校の全校生徒数は22名(男11名、女11名)です。

どんぐり入学式



昨年6月、国の構造改革特区の認定を受け、さらに同年12月に県の認可を受けて本年4月からの開校に向け準備を進めてきました「学校法人どんぐり向方学園」が運営する「どんぐり向方小・中学校」が、4月6日に入学式を行いました。

生徒は、新入生2名を含む男子中学校ばかり7名です。今後は、体験学習や地域のお金寄りとの交流などを通じて、いろいろな方面での活性化が図られるなどを期待します。

便利です口座振替

納税は、便利・確実な
口座振替にしませんか？

納期ごとに銀行や役場などへお出かけになる手間がはぶけ、「うっかり忘れていた」などといった事もなくなります。体の不自由な方や、仕事でお忙しい方に特におすすめします。

◎口座振替できる村税

- ・村県民税・固定資産税
- ・軽自動車税

※税以外の上下水道料金、住宅料、CATV使用料も利用出来ます。

◎取扱金融機関

- ・飯田信用金庫
- ・みなし信州農協・郵便局

◎手続きのしかた

預金通帳・届出印をお持ちのうえ、直接金融機関にお出かけになるか、役場窓口に出でていただき、「口座振替依頼書」にてお申し込みください。
※一度手続きされると、毎年自動的に継続されます。

◎お問い合わせ

役場総務課税務出納室及び住民課保健衛生係
電話(22)2001
又は各金融機関まで

天龍村職員配置及び職務分担について

平成17年4月1日付、機構改革及び職員の異動に伴い事務分担が下記のとおりとなりましたのでよろしくお願いします。

4月1日より住民課生活環境係の一部が住民課から産業建設課へ移り上下水道係となりました。

村長 助役	大平巖 澤文仁		収入役 教育長	遠板 山倉恒俊	満俊夫	
所属	課長	係(室)名	係(室)長	係員		事務分担
総務課 (庁舎1階)	野竹三大 参事 小林公人	総務係	課長補佐(兼) 大平寿子	斎藤正宏 田村守	玉井直江	人事、給与、消防防災、防犯、選挙 議会、CATV、村営バス、庁舎管理
		企画財政係	竹田順次	藤澤壯士		企画、財政、予算、広報、監査、統計 広域、財産管理
		むらづくり推進室	参事(兼) 小林公人	布山澄(県から派遣)		むらづくり計画、南部総合事務組合
		税務出納室	税務係長 鈴木一寿	中島俊博		税務全般
			出納係長 村松美里			出納、会計
住民課 (庁舎1階)	藤澤保夫 参事 橋爪誠	住民福祉係	花田清一	橘謙治 宮下正和	土松理恵	戸籍、住民台帳、印鑑、外国人登録、 年金、介護保険、介護福祉 男女共同参画、
		保健衛生係	参事(兼) 橋爪誠 (兼務)	佐々木久美	白川あゆみ	国保、老人保健医療、保健衛生 交通共済
		生活環境係		森祐二		廃棄物、公害、消費生活、交通安全
		社会就労 センター	清水保秀	大平崇史 (伊藤裕介) (宮澤盛孝)		社会福祉事業授産全般
		天龍保育所	竹田朋子	林ミチ江 野村理沙	宮澤真由美 (村田サダ)	保育全般
産業建設課 (庁舎2階)	小木曾貞吉	建設係	大平哲士	大平卓治		村道、土木、河川、村営住宅、建築 水防
		農林係	鈴木浩孝	堤本好臣 渡久山直樹		農林道、治山、狩獵、農業委員会、 農林業振興、治山、土地改良
		商工観光係	秦博実	犬飼廣昭(県から派遣) 影原重喜		商工業振興、観光全般
		上下水道係	熊谷弘幸	野竹英二		上下水道、合併浄化槽
		国土調査係	遠山景一	(遠山全洋) (宮澤久恵)		地籍調査
南支所	宮澤英行 (兼務)			(村松ヨネ)		戸籍、住民台帳、印鑑、出納
天龍温泉				後藤三八子 (小沢輝男) (羽田野茂富)		温泉業務全般、利用者サービス

所 属	課 長	係 名	係 長	係 員	事 務 分 担
教育委員会		学校教育	永嶺誠一		学校教育全般
		社会教育	主幹(兼) 樋本 孝 トレバー・アンダーソン (今西典子)	トレバー・アンダーソン (今西典子)	社会教育全般、公民館、図書館
		学校給食共同調理場		橋本いせ 小林博子	給食調理
		天龍小学校		伊藤照子	用務員、配食車運転
		天龍中学校			
計		6人	14人	26人 (9人)	

天龍村社会福祉協議会

所 属	課 長	係 名	係 長	係 員	事 務 分 担
天龍村 社会福祉協議会	事務局長 ※村松伸和	事務局		※村澤 房	
		所長	※大平 健		在宅介護支援センター所長、ケアプラン作成
		所長	事務局長(兼) ※村松伸和		高齢者生活福祉センター所長
		看護師		坂本季子	デイサービス
		介護員		平松喜子 増沢カズコ	
				板倉萬美栄 秦義子	
				高松道子 花田みゆき	
				柳沢弘子 永嶺ほづみ	
		事務		※後藤浩二	
		指導員	※瀧澤るみ子		訪問ヘルパー全般
養護天龍荘	所長 ※大平正長	看護師		林三千子	
		栄養士		吉村和恵	
		介護員		遠山千春 坪井一枝	
				樋本紀子 板倉節子	
				遠山栄 秦妙子	
				仲間宇津美	
		調理員		佐藤セツ子 後藤滝江	
				(遠山巳好)	
特養天龍荘	所長 ※松下壽男	事務	※村澤元記		
		生活相談員	※宮澤育子		(兼介護支援専門員)
		看護師		柴原美代子 村澤幸	(兼機能訓練指導員)
		栄養士		今村梨紗	
		介護員		宮澤ナヲ子 ※熊谷和保	特別養護老人ホーム全般
				村松三子 宮澤富	
				小林元美 宮澤恭子	
				松下和代 秦和加子	
				大平安美 ※佐々木美和	
				板倉美香 柴原愛	
		調理員		小木曾沙代 (板倉美子)	
				(秦苗子)	
				野竹利子 村澤佳恵	
				鈴木久美子 吉澤洋子	
計		3人	4人	4人	38人 (3人)

※は村からの派遣職員 () は臨時職員

地区担当職員制度について

今回、村づくり計画策定にあたり、地区担当職員制度の見直しを行いました。これにより、平成17年度より地区担当職員が下記のとおりとなりました。これからは、地区担当職員が、地区に関する相談に乗らせていただき、担当課への取次ぎや、村の事業を説明させていただきながら、地区と役場とのパイプ役を担えればと考えますのでよろしくお願いします。

平成17年度天龍村消防団役員が選任されましたのでお知らせします。

◇宮坂	泰樹	(三年副担任)
◇中村	孝規	(一年副担任)
◇傳刀	正義	(二年副担任)
◇前所		
優介		

平成17年度の異動により次の先生が村内の小中学校に着任されました。

◎新規採用

◇野村 理沙 天龍保育所	◇県より交流派遣職員
◇布山 澄 広昭 まらづくり推進室	◇犬飼 産業建設課
△北島 隆英 商工観光係	

たいへんおつかれさまでした。
これからも、天龍村の発展のためにご協力をお願いします。

△第一分団長	熊谷 弘幸
△副分団長	枝村 茂
△副分団長	高康 元記
△副分団長	田村 博史
△第二分団長	村澤 関口
△女性班長	村澤 関口
△副班長	友美 房

—お世話になります—
人事異動（敬称略）